土浦市高齢福祉課　地域支援係　TEL 029(826)1111（内線 2501）

開催報告

つちうら認知症バリアフリー市民講演会

「つちうら認知症バリアフリー宣言」から４年目となる今年度も、９月５日(土)に、クラフトシビックホール土浦で「つちうら認知症バリアフリー市民講演会」を開催しました。当日は、認知症当事者や認知症に関心がある方等１７０名の方が参加しました。

今年は、地域で音楽療法の技法を活かし、県内認知症カフェや地域の音楽サークル、施設等で活躍されている「一般社団法人おととも」の音楽療法士　磯上朋子さんと椿由香里さんを講師にお迎えしました。「認知症の音楽療法現場から見える景色～だれもが心豊かに過ごせる時間を～」をテーマに、音楽を使った参加型の講演内容で「新しい認知症観」の普及を行いました。





開会挨拶

講演に先立ち、渡辺善弘土浦市副市長から、「本日の貴重なお話が、『新しい認知症観』の理解・促進に繋がり、共生社会の実現への一助となりますことを、ご期待申し上げます。」と主催者挨拶がありました。



講演

講演では、講師の演奏や歌に合わせて、参加者が一緒に手拍子やリズムを取る体験型の講演が行われました。参加者は、音楽を通じたコミュニケーションの楽しさを体感しながら、認知症の人との関わり方や、心豊かに過ごすためのヒントについて学びました。

認知症ご本人からは「認知症になっても暮らしていける、生活していけると思います」という前向きな感想や、ご家族の介護をしている方からは「トーンチャイムの時間が介護生活を忘れさせてくれた。ありがとうございます」という感想がありました。





質疑・応答

「認知症の定義がわからない」や「認知症の家族にどうやって孫が接したらよいか？」等の質問があり、磯上さんは「認知機能の低下で日常生活に支障がでてくる状態とはあるけど、認知症ってどんなのと決めつけないで、人それぞれ。その人に合わせて接すればよいと思う」「接し方を難しいと思わず、違うとか否定はしないで。一緒に歌うとよい」と話されていました。認知症になってもできること、やりたいことがあって、希望を持って自分らしく暮らせるという「新しい認知症観」が出発点だということを確認する機会となりました。



貴重なご講演、ありがとうございました！